“自分でできるように手伝ってください”

2024.02.01

　１１月からつきぐみに入らせていただくことになり、３ヶ月が経ちました。
毎日、自分でできることが増えていく子ども達を見て感動する日々を過ごしています。
ほんの少しですが、紹介させてください。

《１歳２か月の男の子のエピソード》

おやつや給食に誘うとエプロンと
おしぼりが入っている引き出しの前に
行きます。開けてエプロンを取り、
保育士に渡すのでつけるのを手伝います。
おしぼりは調乳室にいる保育士に
渡すように伝えると持って歩いて渡しに
行きます。そして、自分の好きな椅子に
座り、待ちます。

《１歳５か月の女の子のエピソード》

おやつや給食を食べる前にベストを
脱ぎます。自分で食べると選択したら
自分でベストを脱ぎ、引き出しを開けて
タンスに入れます。食べ終わったら
自分でタンスに行き、引き出しを開けて
ベストを取り、保育士のところへ持って
行き、手伝ってもらいながら着ます。また、
他児のベストを手にすると保育士に
渡そうとするので他児に渡すように
伝えると渡しに行きます。

この様子を見て・・・私はすごく驚きました。そして、感動しました。
まだ言葉を話せないけど言葉を理解して行動することができていました。
ものの名称だけでなく、動詞を理解して行動することができていたのです。

《１歳７か月の男の子のエピソード》
その日は寒かったので、ベストを着るように声を掛けました。寒いかなぁと思い、
保育士が引き出しからベストを出し、着るように促すと泣きだしました。
泣いてしまったので、ベストをタンスに戻しました。しばらくすると、男の子は自分で
タンスのところへ行き、引き出しを開けてベストを取り、保育士のところに持って行き
ました。保育士が援助をしてベストを着ると椅子に座ってお仕事をし始めました。

この様子を見て・・・私は邪魔をしてしまったと反省しました。

　“自分でできるように手伝ってください”という言葉を大切にこれからも子どもたちと
関わっていきたいと思います。子どもが泣いている時、反応しない時、ぜひ、この言葉を
思い出してみてください。時には、手を出してしまい、泣かせてしまうこともあると思い
ます。その時は、素直に「ごめんね」と伝えましょう。これからも保護者の方と一緒に
子どもたちの成長を見守っていけたら嬉しいです。